

みくまの 1月号 マンスリータイムズ



第2回きこえとことば・見えかた教育相談会

12月6日(金)に、和歌山ろう学校、和歌山盲学校、はまゆう支援学校の先生に来ていただき、「第2回きこえとことば・見えかた教育相談会」が開催されました。今回は、本校の児童生徒や、東牟婁地域に住む16人の子どもたちがこの相談会を利用しました。

きこえにくさがあると、聞き返しが多くなったり、言葉を誤って覚えたりすることがあります。また、見えにくさがあると、文字を正確に捉えることが難しく、読みや書きの定着に時間がかかったりすることがあります。

きこえや見えかたは、学習する上で大切な力となります。

本校では、年2回、きこえとことば・見えかた教育相談会を開催しています。「聞き返すことが多い」や、「テレビや本を近くで見る」等、少しでも気になる様子がありましたら、今後活用していただけたらと思います。

先輩として、みんなに伝えたいこと



12月12日(木)、高等部は、職業生活の授業で実習報告会を実施しました。

2つの学習グループに分かれて、各班の3年生がパワーポイントや模造紙を使い、1、2年生に向けて発表をしました。発表内容は、1日の実習内容から始まり、実習でそれぞれが頑張ったこと、苦労したことなどでした。中には、先輩へのアドバイスをする生徒もいて、1、2年生はとても真剣な表情で聞いていました。実習報告会を通して、働くことに対する意識を高め、将来への見通しや進路を考える良い機会になったことと思います。



他学部の子童生徒との関わり



今年度も、地区ごとに生徒と教員が分かれて活動をする「全校活動(色別活動)」の時間を設定しています。それぞれの地区に色を付けているので、色別活動という名称になっています。地区別グループで活動することによって、普段は関わりが少ない他学部の児童生徒、教師と関わる機会を作っています。

まず、全校活動の時間に、各地区でリーダーと副リーダー、年3回の活動内容を色別グループみんなで相談をして決めます。カラオケや宝探し、すごろく、ボーリング、魚釣り、かくれんぼなど、様々な活動を行っています。今年度もそれぞれの地区別グループで楽しく活動することができました。

校外販売活動

～これまでの経験を活かして～



12月13日(金)に、Aコープランティスで、今年度2回目となる校外販売活動を行いました。

7月に行われた1回目の校外販売活動と文化祭バザーでの経験から、自分たちで作った商品の魅力や、こだわったところなどの説明もできるようになりました。商品の袋詰め、会計などの作業もスムーズになり、保護者や地域の方々を待たせることなく行うことができました。

校外販売活動を終えて、振り返りをしているときの満足そうな表情から、この活動は生徒たちの自信につながり、今後の糧になっていくのではないかと感じました。

